

事業実施報告

事業名	つるっこで虫を見つけよう！
目的	・身近な自然に触れ、生き物の種類や生態に興味関心を持つ ・地域ボランティアとの関わりから、地域への愛着や理解を深める
日時	2024年10月27日(日) 午前10時30分～正午
主な対象と参加者数	年中～18歳とその保護者 未就学児8名、小学生6名、保護者13名 計27名
講師・協力者等	和光大学地域・流域共生フォーラム講師1名、町田市環境共生課
内容	・虫を探す際の注意事項や道具の使い方の説明 ・つるっこの芝生広場での虫探しと見つかった虫の解説 ・講師が持参した虫などの生き物の標本の観察
様子等	・約10分間、注意事項や虫探しのポイントについて説明を聞いた後、広場に出て実際に虫を探しました。子どもだけでなく保護者も楽しんで虫を追いかける姿が見られ、親子での会話も弾んでいたようです。 ・約30分間の探索の後は、見つかった虫の名前や生態についての説明を講師から聞きました。最後にアンケートに記入して解散となりました。つるっこの広場に珍しいバッタがいることがわかり、講師の方も大変驚いていました。 ・講師が持参した標本には蝶や蛇の抜け殻などがあり、参加者は興味津々な様子で見入っていました。

事業名	音の防災シアター『カンカン塔の見はり番』公演
目的	・「聴く力」の大切さを知り、「防災」「減災」について関心を持つ ・優れた児童文化財(生演奏付き人形劇)に触れ、情操を育む
日時	11月9日(土) 午前11時～11時30分
主な対象と参加者数	対 象:0歳から18歳とその保護者 参加者数:未就学児25人 小学生7人 保護者21人 計53人
講師・協力者等	企画制作:NPO法人子どもとアーティストの出会い
内容	【あらすじ】 主人公・子うさぎベルくんのお父さんのお仕事は、「カンカン塔」の見はり番。火事が起きたら鐘をカンカン、雨が降ったら太鼓をドンドン。村で起こる出来事を音で報せます。今日はお父さんに代わって、ベルくんが初めて見はり番をする日。そんな時、数十年ぶりに恐ろしいオオカミが来襲。懸命に音で報せますが、村人は音の意味をすっかり忘れてしまっていた！どうする、ベルくん？ 子どもたちの防災意識の醸成を目的とした創作人形劇で、音による情報伝達、とりわけ危険を報せる音をテーマとしている。 災害時に音に注意を払い、自ら考えて避難行動をとることの重要性を訴える、約30分の完全オリジナル作品。
様子等	・人形劇を楽しみに、開館前から来館していた小学生や乳幼児を連れた親子数組は、開場とともに嬉しそうに着席していました。また、偶然来館し、客入れのアコーディオンの音に興味を持って参加した親子もいました。 ・愉快的語り口調の参加型人形劇で、場面に即した様々な楽器の音やジャグリングも楽しむことができました。参加者は、聴くことや考えることの大切さを学んでいました。 ・終了後には、人形のベルくんからお土産のステッカーを受け取りながら、演者と交流する姿が見られました。 ・終演後のアンケートには、乳幼児の保護者からは人形劇や生演奏に触れた子どもの様子が、小学生からは作品のテーマに関する感想が多く寄せられていました。

事業名	鶴川鉄道フェス
目的	・子ども・若者のやりたいことを子どもセンターで実現できるように後押しをする ・子どもセンターに関連する地域の人と人をつなぎ、活動の場を広げる ・大きなジオラマのプラレールで自分の持参した列車を走らせることによって、来館者のプラレールの世界を広げることに繋がる ・Nゲージの運転体験で、運転手になった感覚を味わう ・遊びを介し、他の親子や異年齢の子ども同士の交流の場となる
日時	2024年11月30日(土) 午後2時～4時
主な対象と参加者数	対象:どなたでも 未就学児7名、小学生3名、保護者7名 計17名
講師・協力者等	中高生ボランティア1名 町田D51型蒸気機関車保存会1名 地域ボランティア1名
内容	・プラレールのジオラマで好きな車両を走らせる ・Nゲージのジオラマで、運転手体験をする ・電車に係る記事の掲示
様子等	日頃より館内でプラレールのジオラマを作成している中学生ボランティアが、より大きなイベントを企画したいと発案し、今回の実施となりました。 当日は、町田D51型蒸気機関車保存会のボランティアの協力を得て、お手製のNゲージのジオラマを3台設置し、Nゲージ運転体験も開催しました。自分の列車を持ち込んで嬉しそうに走らせている幼児さんや、その姿を動画に収めている保護者の方の姿が微笑ましかったです。 また、子ども同士で列車の貸し借りをしたり、鉄道博士のような小学生がやってきて、鉄道の知識を利用者の父親に熱心に説明したりする姿も見られ、利用者同士の交流が盛んでした。発案者の中学生は、次回の実施に向けて期待を膨らませています。

事業名	つるっこホットフェス
目的	・来館者に楽しい時間を提供する。 ・たくさんの人につるっこ子ども委員会の活動を知ってもらう。 ・子ども委員会のメンバーが、主体的に、力を合わせてイベントの企画・準備から実施までを行うことで、達成感を味わい、団結力を高める。
日時	2024年12月15日(日) 午後1時～5時
主な対象と参加者数	対象:どなたでも 参加者数:298名
講師・協力者等	つるっこ応援し隊、鶴川地区青少年委員、野津田高校ユニバーサルスポーツ同好会 鶴川中学校ボランティア部、鶴川中学校自然観察部、子ども委員会卒業生 鶴川地域子育て相談センター、他ボランティア
内容	①迷路 ②クリスマスカード作り ③スタンプラリー ④ドッジボール ⑤ハの字風車作り ⑥キャンドルイルミネーション ⑦宝探し ⑧ペンシルバルーン ⑨ペーパークロマトグラフィー ⑩ユニバーサルスポーツ体験 ⑪きらきらタイム ⑫模擬店
様子等	【各コーナーの様子】 ①迷路…イルミネーションや光るツリーで飾られた迷路を進みながら、折り紙で作られたオーナメントの数を数え、ゴールで答え合わせをしました。リピーターも多く、合計で165名が参加しました。 ②クリスマスカード作り…自分で描いた絵を切り抜いて作るポップアップカードのコーナーです。みんなの個性的な作品が完成していました。 ③スタンプラリー…館内の6か所を回ってスタンプを集めると、ゴールで景品がもらえるイベントです。開始直後は特に多くの参加者で賑わっていました。 ④ドッジボール…45名が参加し、とても盛り上がっていました。 ⑤ハの字風車作り…青少年委員さんが担当する工作コーナーです。後半には「ふらっふ」に場所を移し、さらに参加者が増えました。 ⑥キャンドルイルミネーション…屋上「らびゆた」に並べられたキャンドルの道を歩き、子ども委員サンタからプレゼントがもらえました。夕焼けがきれいな時間帯で、普段は上がれない屋上からの風景を楽しむ様子も見られました。 ⑦宝探し…ボールプールの中で、マーク付きのボールを時間内に探すゲームです。幼児から高校生まで楽しんでいました。 ⑧ペンシルバルーン…鶴川中学校ボランティア部が作ったバルーンアートの一つもらえ、参加者は嬉しそうでした。 ⑨ペーパークロマトグラフィー…鶴川中学校自然観察部によるにじみ絵体験コーナーです。ろ紙に水性ペンの色が滲んでいく様子をじっくり観察していました。 ⑩ユニバーサルスポーツ体験…野津田高校ユニバーサルスポーツ同好会によるボッチャとモルツクの体験コーナーです。スポーツを楽しむのはもちろん、高校生との交流も楽しそうでした。 ⑪きらきらタイム…子育て相談センター職員による影絵クイズなどのコーナーです。乳幼児だけでなく、小学生や保護者もクイズに参加していました。 ⑫模擬店…つるっこ応援し隊によるミニラーメン、パン、駄菓子などの販売と、子ども委員 OB・OG による焼き鳥販売がありました。模擬店の周りでは、購入した食べ物をおいしそうに食べる様子が多く見られました。

事業名	【まちだ若者大作戦】世界の言語でcooking！
目的	・多文化をキーワードに、他国の料理を作ることを通じて、多国籍の子どもたちの交流を生み出す。 ・多言語でのクッキングを通して、日本以外の言語や文化、社会に触れる機会を提供し、グローバルな視点を持つ子どもの育成に寄与する。
日時	2025 年 1 月 19 日(日)午前 11 時～午後 1 時
主な対象と参加者数	対象:小学生から 18 歳 参加者:小学生 8 名
講師・協力者等	桜美林大学のグローバル・コミュニケーション学群の学生 3 名 桜美林大学教員 1 名
内容	・アイスブレイク(絵しりとりゲーム) ・ベトナム語の紹介 ・ゴイクン(生春巻き)作り
様子等	学生たちは、まず参加者同士が仲良くなれるようにと、ホワイトボードを使った「絵しりとり」でアイスブレイクを行いました。その後、ベトナム語の挨拶をモニターで紹介しました。 当日は、ベトナムの学生である講師が体調不良で急に休むことになってしまいましたが、他のメンバーたちが積極的に参加者たちと交流していました。 作業の流れとしては、まず用意された具材を切り、その後お湯にくぐらせたライスペーパーで好きな具を巻いていきました。ソースは 5 種類用意されていて、参加者たちは自分の好みのものを付けて楽しそうに食べていました。

事業名	①屋上で星空観察会 ②プラネタリウムと科学ワークショップ
目的	・日頃触れる機会が少ない天文分野の体験を通して、身近な自然、星空や宇宙への興味関心を持つ機会とする。 ・普段利用していない子の来館するきっかけを作る。
日時	①2025年2月8日(土)午後6時～7時 ②2025年2月11日(火)午前10時～午後3時30分
主な対象と参加者数	①98名 ②254名
講師・協力者等	星空のオフィス CUE
内容	①星空ガイドによる星の案内 ②移動式プラネタリウムでの星空上映、真空実験ショー、紙コップでロボットアームの仕組み工作、カラー傘袋ロケット工作、空間把握テスト、ホワイトパズルテスト
様子等	・星空観察会は、普段は立ち入ることができない屋上を特別に開放して実施しました。事前の問い合わせが非常に多く、こちらの想定を大きく上回る参加者が集まったため、急遽2部制で行うこととなりました。とても寒い日でしたが、澄んだ空気の中で月や木星、オリオン座など多くの星を観察することができました。参加した子どもたちからは「とても楽しかった」「きれいだった」という声が多く聞かれ、本物の星空を体験することで自然や宇宙への関心を高める良い機会となりました。 ・プラネタリウム&科学ワークショップは、普段ボール遊びなどでにぎわう「ふらっふ」(プレイルーム)で実施しました。直径7m、高さ4mのプラネタリウムドームに興奮する小学生の姿が印象的でした。年齢制限を設けなかったため、0歳の子どもも母親と一緒に参加し、幼児も途中退場することなく星空に見入っていました。 ・真空実験ショーでは、目の前に宇宙と同じ真空が再現され、防犯ブザーやマシュマロなど身近なものがどのように変化するかを観察できました。目の前で起こる変化に驚く子どもたちが多く、科学的な現象に興味を持つきっかけとなりました。 ・紙コップロボットアームやカラー傘袋ロケット工作などの他のコーナーも、スタッフの親しみやすい案内があり、楽しく宇宙や宇宙飛行士について感じられる機会となりました。